

(お知らせ)

令和6年7月4日
防衛省

スタンド・オフ防衛能力に関する事業の進捗状況について

防衛省・自衛隊は、我が国への侵攻部隊を早期・遠方で阻止・排除するため、スタンド・オフ防衛能力を強化することとしています。

この能力を早期に構築するために、防衛省・自衛隊としては、まず、国産スタンド・オフ・ミサイルの早期取得に向けて取組を進めているところです。

今般、国産スタンド・オフ・ミサイルのうち、島嶼防衛用高速滑空弾の事前発射試験を行い、計測系の確認ができたため、以下のとおりお知らせします。

1 目的

じ後の発射試験に向けた計測系の確認等

2 事前発射試験日

- (1) 第1回発射 令和6年3月23日(土)(日本時間)
- (2) 第2回発射 令和6年4月7日(日)(日本時間)

3 試験場所

米国(カリフォルニア州)

島嶼防衛用高速滑空弾は令和8年度(2026年度)に取得を予定しております。

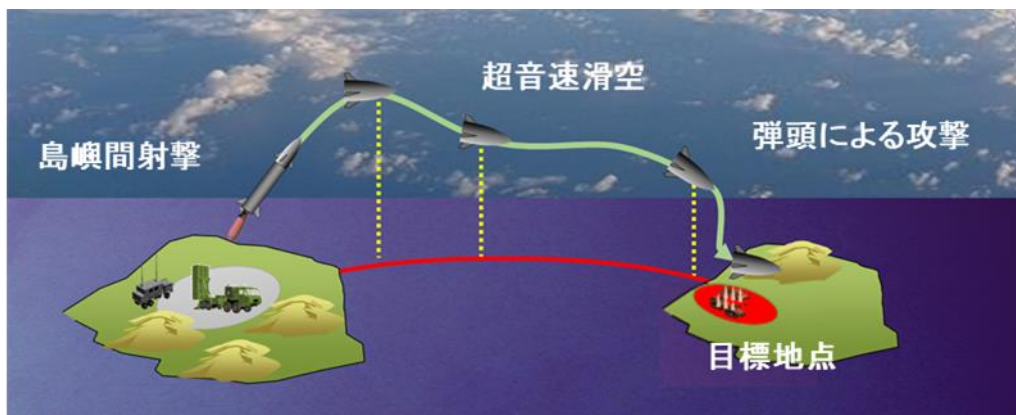
引き続き、防衛力整備計画に基づき、各種スタンド・オフ・ミサイルの取得を推進し、スタンド・オフ防衛能力の早期構築を図ってまいります。

(別紙)

(参考) 島嶼防衛用高速滑空弾の研究・量産

島嶼防衛用高速滑空弾について、研究を進めるとともに、部隊配備を可能な限り早期に実現するため、令和5年度より量産に着手しています。

和歴	30年度	—	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
FY	2018	—	2023	2024	2025	2026	2027
	研究						
			早期量産				
						▽納入	▽納入



島嶼防衛用高速滑空弾 (イメージ)